

入札契約制度改革の検討の方向

資料9

〔現状〕

- ・重大・悪質な談合事件(官製談合を含む)の発生
- ・ダンピング、不良工事の発生

〔建設業を取り巻く環境〕

- ・深刻な過剰供給構造
- ・品質確保法の施行
- ・改正独占禁止法の施行

〔改革の視点〕

ダンピングや談合等不正行為のない競争性・透明性の高いシステムの導入

「VFMの実現」と「技術と経営に優れた企業の伸張」が可能なシステムの構築

〔改革の方向〕

一般競争入札の改善・拡大

総合評価方式の拡充

改革を実施するための制度改善・条件整備

市場機能を活用した企業評価のための「入札ボンド」の導入

高い技術力による競争を促進するための「多段階審査と交渉」の導入

発注者による評価の増大に対応する中立性・公正性の確保のための「第三者機関」の整備

等